

# 九州半導体人材育成等コンソーシアム

## サプライチェーン強靱化WG

### 2024年度 活動中間報告

2024年10月4日

サプライチェーン強靱化ワーキンググループ

座長

鈴木 清己

- ◇ **2024年度 活動の概要・進捗状況報告**
  - ・ 連携構築(BCP,他)
  - ・ 九州の半導体産業バリューチェーン構築WS
  - ・ チャレンジマーケット2024
- ◇ **スケジュール**

## サプライチェーン強靱化WG : 座長 鈴木 清己 氏 (株式会社スズキ 代表取締役社長)

産業界	1	旭化成エレクトロニクス株式会社
	2	株式会社アルプス物流
	3	エア・ウォーター株式会社
	4	SMC株式会社
	5	NRS株式会社
	6	株式会社荏原製作所 熊本事業所
	7	株式会社OSナノテクノロジー
	8	株式会社オジックテクノロジーズ
	9	株式会社九州日新
	10	株式会社くまさんメディクス
	11	株式会社SUMCO
	12	株式会社ジーダット
	13	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
	14	株式会社ジャパンセミコンダクター
	15	株式会社スズキ
	16	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
	17	株式会社タケシタ
	18	中央電子工業株式会社
	19	TXOne Networks Japan合同会社
	20	株式会社テラプローブ
	21	株式会社デンソー
	22	東京エレクトロン九州株式会社
	23	東京応化工業株式会社
	24	株式会社ヒサノ
	25	日清紡マイクロデバイスAT株式会社
	26	株式会社日出ハイテック
	27	株式会社藤田ワークス
	28	マイクロカット株式会社
	29	三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
	30	三菱マテリアル株式会社
	31	株式会社安川電機
	32	UTエイム株式会社
	33	吉川工業株式会社
	34	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
	35	ラムリサーチ合同会社
	36	ルネサスエレクトロニクス株式会社
	37	ロジスティード九州株式会社

行政機関	38	福岡県
	39	佐賀県
	40	長崎県
	41	熊本県
	42	大分県
	43	宮崎県
	44	鹿児島県
	45	北九州市
	46	福岡市
	47	熊本市
	48	財務省長崎税関
49	国土交通省九州運輸局	
50	国土交通省九州地方整備局	
51	経済産業省 (本省)	
金融機関	52	株式会社大分銀行
	53	株式会社熊本銀行
	54	株式会社佐賀銀行
	55	株式会社西日本シティ銀行
	56	株式会社日本政策金融公庫
	57	株式会社日本政策投資銀行 九州支店
	58	株式会社肥後銀行
	59	株式会社福岡銀行
	60	株式会社三菱UFJ銀行
	61	株式会社宮崎銀行
	協力機関	62
63		かごしまモノづくり推進協議会
64		公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS)
65		一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
66		公益財団法人九州経済調査協会
67		一般社団法人九州経済連合会
68		公益財団法人九州先端科学技術研究所
69		一般社団法人熊本県工業連合会
70		公益財団法人佐賀県産業振興機構
71		国立研究開発法人産業技術総合研究所 九州センター
72		独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部
73		独立行政法人日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター
74		明倫国際法律事務所

# 2024年度活動概要 ～サプライチェーン強靱化WG～

## 現状と課題

- 2021年4月以降、公表・判明分だけで108件・4兆7,500億円超の新規投資が計画。※1  
台湾をはじめ国内外のメーカーやサプライヤーが九州に注目（進出）。※1）9月末時点 九州経済産業局調べ。金額は公表済のみ  
⇒ 九州域内への展開に加えて、グローバルサプライチェーンへの参入が課題
- サプライチェーンの新規参入には、価格や技術的な差別化による競争優位が不可欠だが、  
中小企業単独では難しく、「産学連携」「産産連携」などのアライアンスが効果的。【2022年度調査結果】  
⇒ 上記実現のためには深い相互理解・信頼関係が大前提。“顔が見える関係づくり”が重要
- 国内におけるI C生産の5割超が九州で生産※2。サプライチェーンの強靱化を通じて供給責任を果たす必要。  
⇒ 企業機密の取扱いに留意しつつ、災害等の非常時を想定したBCPに九州で取り組む

※2）生産金額ベース。九州経済産業局「九州地域の鉱工業動向」

## 2024年度の主な活動

### ① 企業間連携の深化と拡大

- 企業間交流会（SIIQ主催）への参加【継続】
- 九州域外との連携・マッチング支援（東北地域、中国地域）【継続】
- BCP/物資安定供給WSの開催（九州域外との連携も視野）【拡充】
- 台湾と産業交流（SEMICON台湾への参加）【継続】

### ② 新たなビジネスモデル構築

- 九州の半導体産業バリューチェーン構築WSの開催（ビジョン、戦略策定）【拡充】
- 九州域内・域外、グローバルサプライチェーンへの参入支援（マッチング、ハンズオン）【新規】

### ③ グローバルサプライチェーンへの対応 ● サイバーセキュリティやGXに関する情報の発信（双方向セミナー）【継続】

# サプライチェーン強靱化WG 活動ツリー

## サプライチェーン強靱化WG

### ◇ BCP連携

- 物流/倉庫
- サイバーセキュリティ
- エネルギーマネジメント(w/GX)

### ◇ バリューチェーン構築

### ◇ ビジネスマッチング,地域連携

### ◇ セミナー(DX,GX,サイバー etc.)

Point(ALL 九州)

✓ ビジネス継続

✓ 目指すべき姿

✓ 顔の見える関係

✓ 共通認識,理解



# BCP連携への取り組み

## 活動前提

- ・有事の際に連携して行動できること
- ・骨子に沿った活動になっていること

### リスク要素

- ・地政学的なリスク (特定部材等の調達)
- ・自然災害 (地震,洪水,異常気象)
- ・サイバーアタック
- ・エネルギー供給
- ・廃棄物、リサイクル(回収、再生コスト)

### 対応

- ・調達難度に応じた確保(在庫/倉庫 w/特区)
- 〃
- ・ValueChain/SupplyChainを途切れさせないIT
- ・GXの担保を前提とした確保
- ・物流網に乗せた回収と処理施設への配送

### BCPの視点(ビジネス継続の為の主要ポイント)

- 物流/倉庫 : 動線と在庫の確保

\*WS形式で議論(次page)

血管/血液(強さ,弾性)

- サイバーセキュリティ : 外的脅威への対応

感染予防(危機管理)

- エネルギーマネジメント : 動力の確保(w/GX)

栄養(生成,代謝,伝達)

\*セミナー形式で習熟

# テーマ：九州物流網構築

共通の物流網,相乗り倉庫の仕組化をKeyWordにしたワークショップの開催

## テーマ(案)九州シリコンアイランドにおける物流インフラ構築

### コンセプト

#### ①幹線便

→定時×定区間運行による高積載率  
車両削減による環境負荷削減  
九州以外への貨物集約（空港、港、倉庫）

#### ②エリア循環便

→ラストワンマイル配送&リサイクル回収

#### ③エリア拠点

→幹線便/循環便のターミナル(倉庫/中継基地機能含)

#### ④部材、車両位置管理

### メリット

・物流インフラの共用(相乗り)化→管理工数削減、コスト削減

・地場物流会社の活用

→1社で解決できない課題を共同体として対応

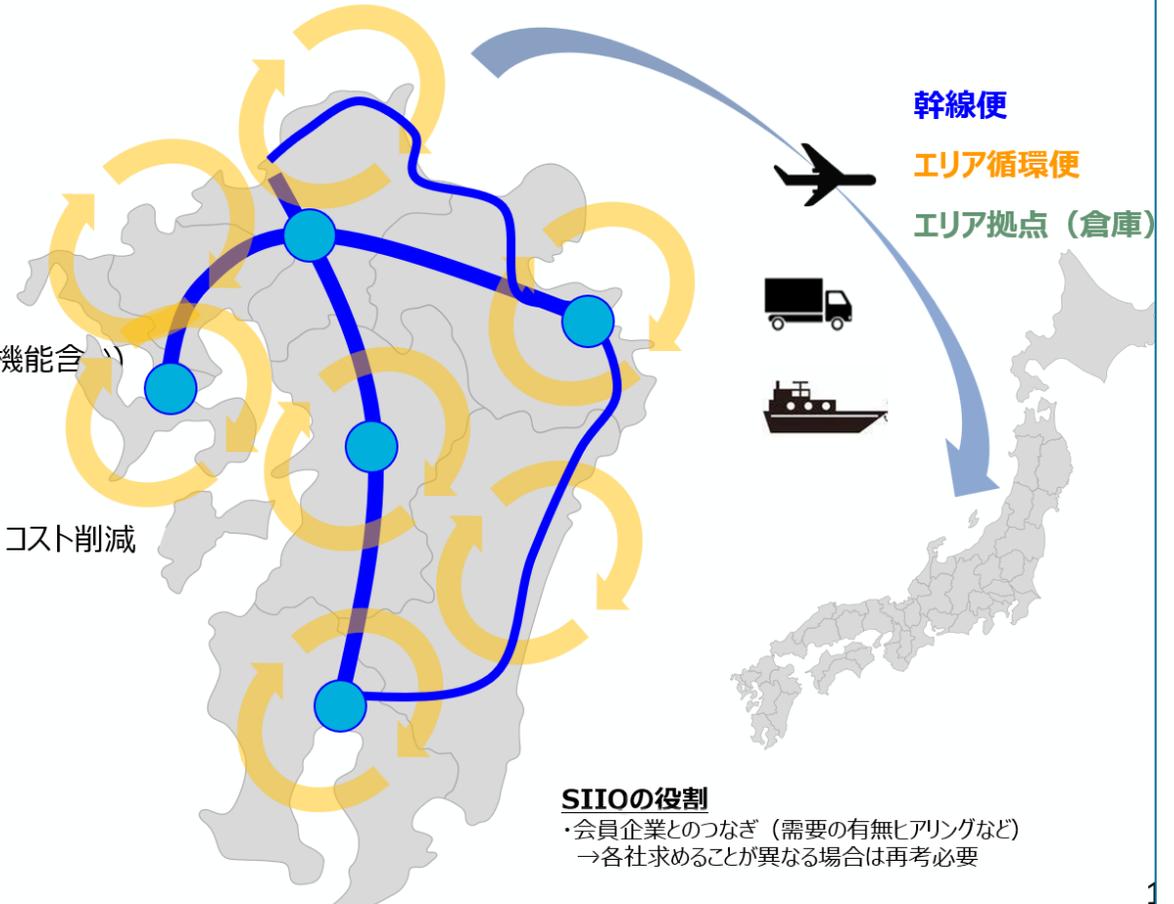
・新規立地企業サポート →既存インフラ活用

・共通オペレーションシステムの利用

→DXに向けた情報の一元管理/共有化

・環境負荷削減（アピール）

→車両集約による温室効果ガスの排出削減

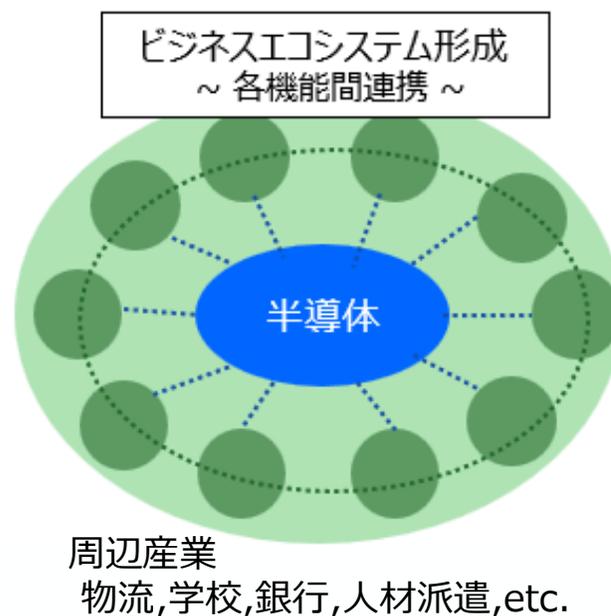
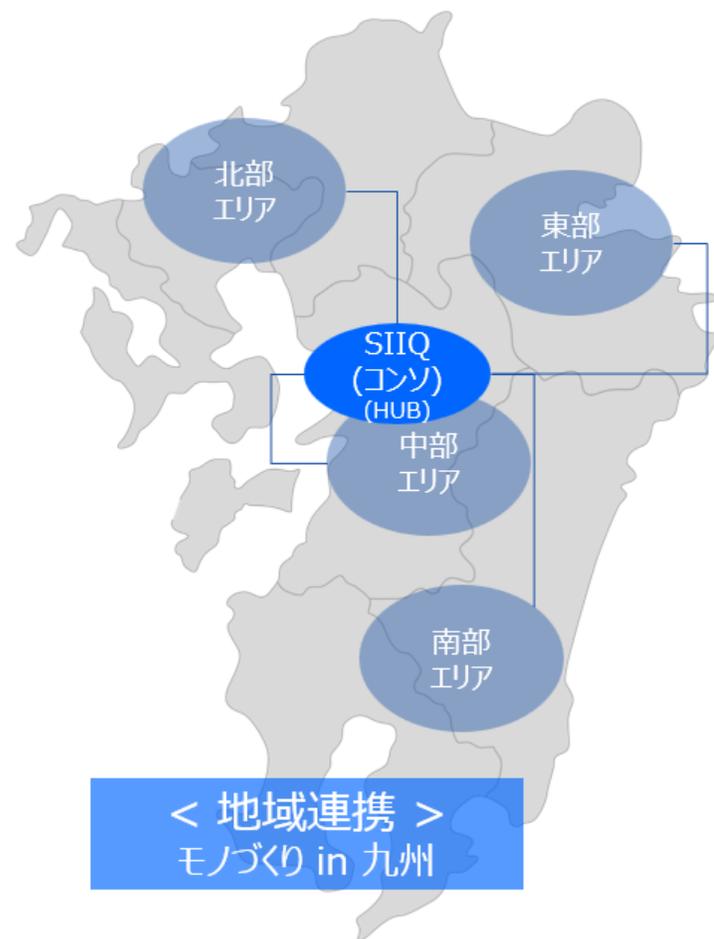


# 目指す姿(地域連携とエコシステム形成)

九州一体となったシステムを構築し、各地域システムとI/F(w/親和性)した連携

九州ビジネスエコシステム(生態系)形成

コンセプト: **ALL九州で効率と競争力を最大限に高める**



仕組みの展開,  
各地域間連携

Goal: ビジネスエコシステム形成  
(ビジネス生態系)

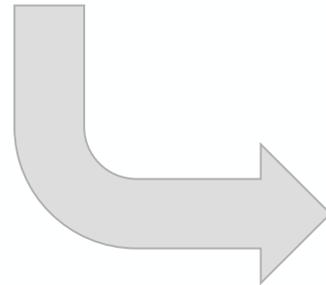
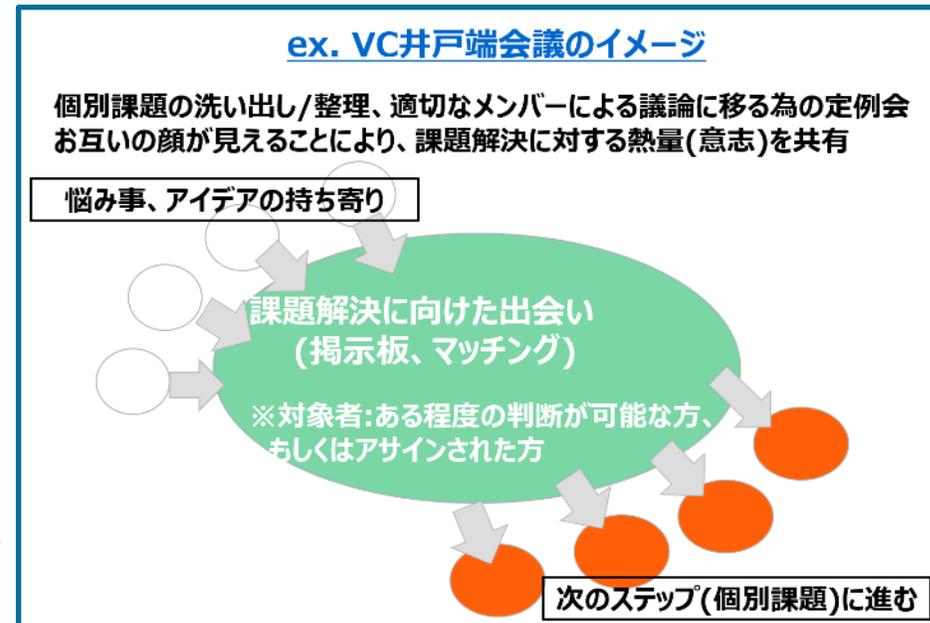
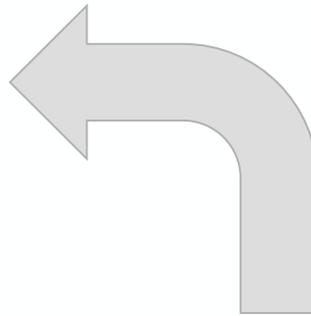
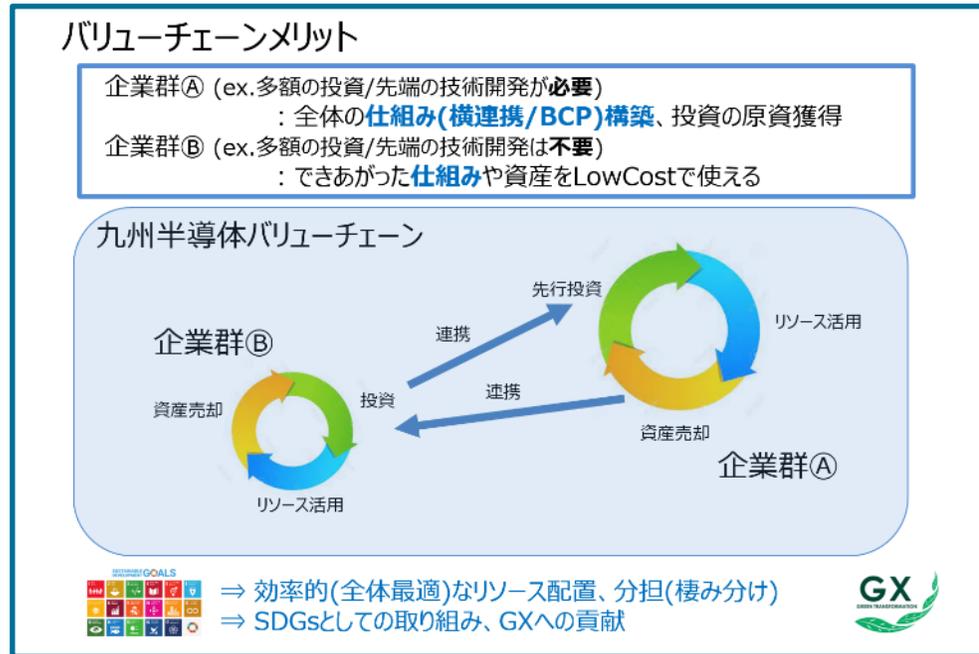
対応)

- ↑ 新規ビジネスの創出, 体力強化
- ↑ DX化(デジタル化, 変革, 付加価値創造)
- ↑ 相互連携, 依存, 共存(GX担保)

課題)

- ↑ 個々での対応が困難(スピード, 機能, コスト)
- ↑ ビジネス環境の急激な変化, 複雑化

“連携(高効率)”、“棲み分け(適材適所)”、“Win-Win”  
をワードとしたスパイラルアップが継続的に行えること。

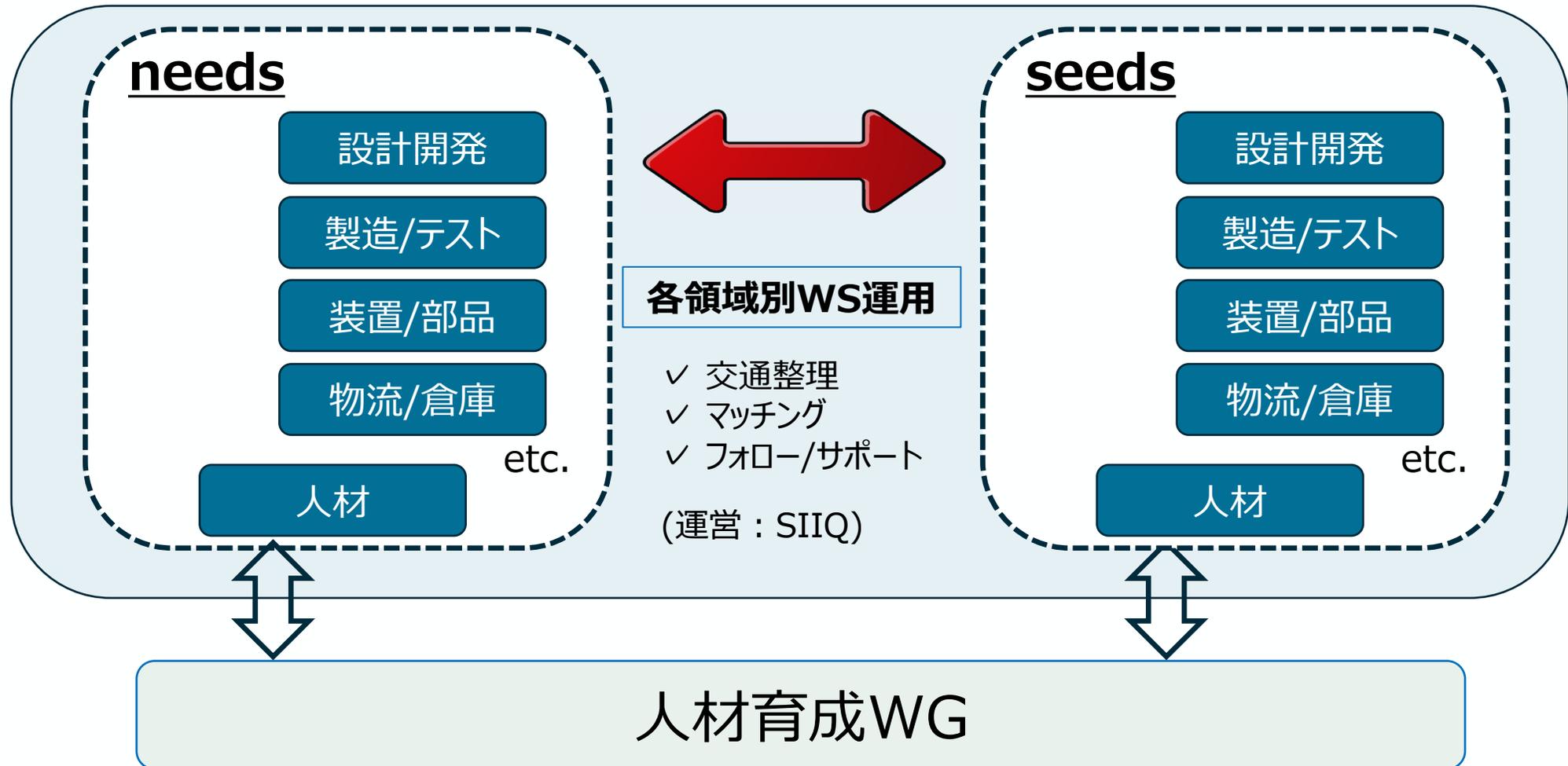


# ビジネスマッチング(テーマ型WS) イメージ図

テーマを設定して、WSを開催

行動を起こす為の場の運用

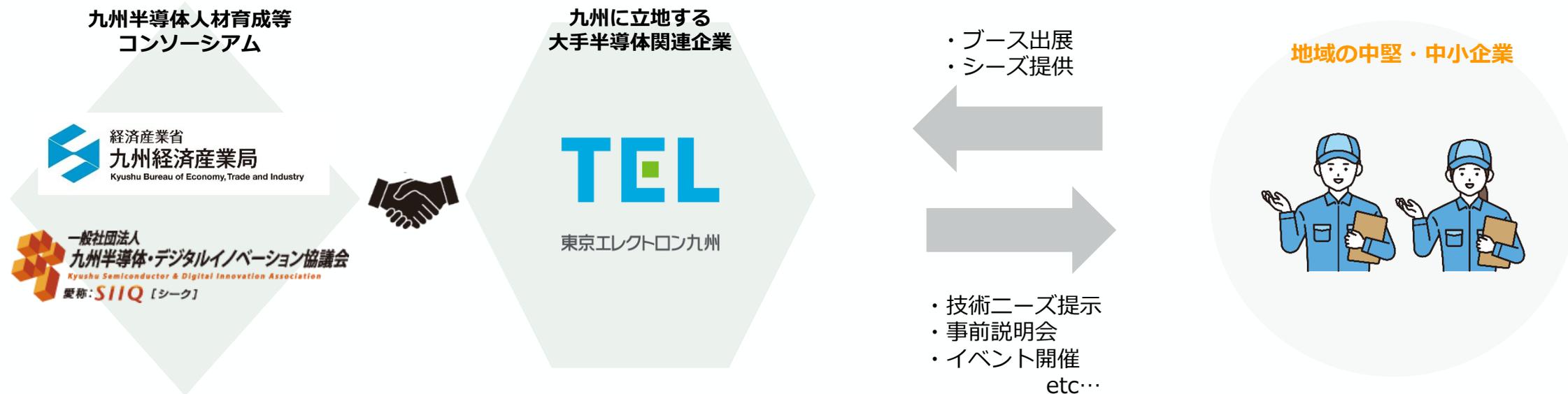
Word : 『顔を合わせる』、『お互いを知る(熱量, 学び)』、『同じ方向を向く』



# チャレンジマーケット2024

## 概要

- 九州に立地する大手半導体関連企業と、地域の中堅・中小企業を結ぶマッチングイベントを年度下期に開催すべく調整中。
- 初回となる東京エレクトロン九州株式会社とのマッチングを皮切りに、翌年度以降も大手半導体デバイスメーカー等とのマッチングイベントを継続して開催する方向で検討。



# セミナー企画案

各企業,団体の規模、課題内容に応じた、有効的なセミナーの実施を検討中

従来)

テーマ(概要,詳細)や成功事例の紹介をもとにした,理解と気づきを促す



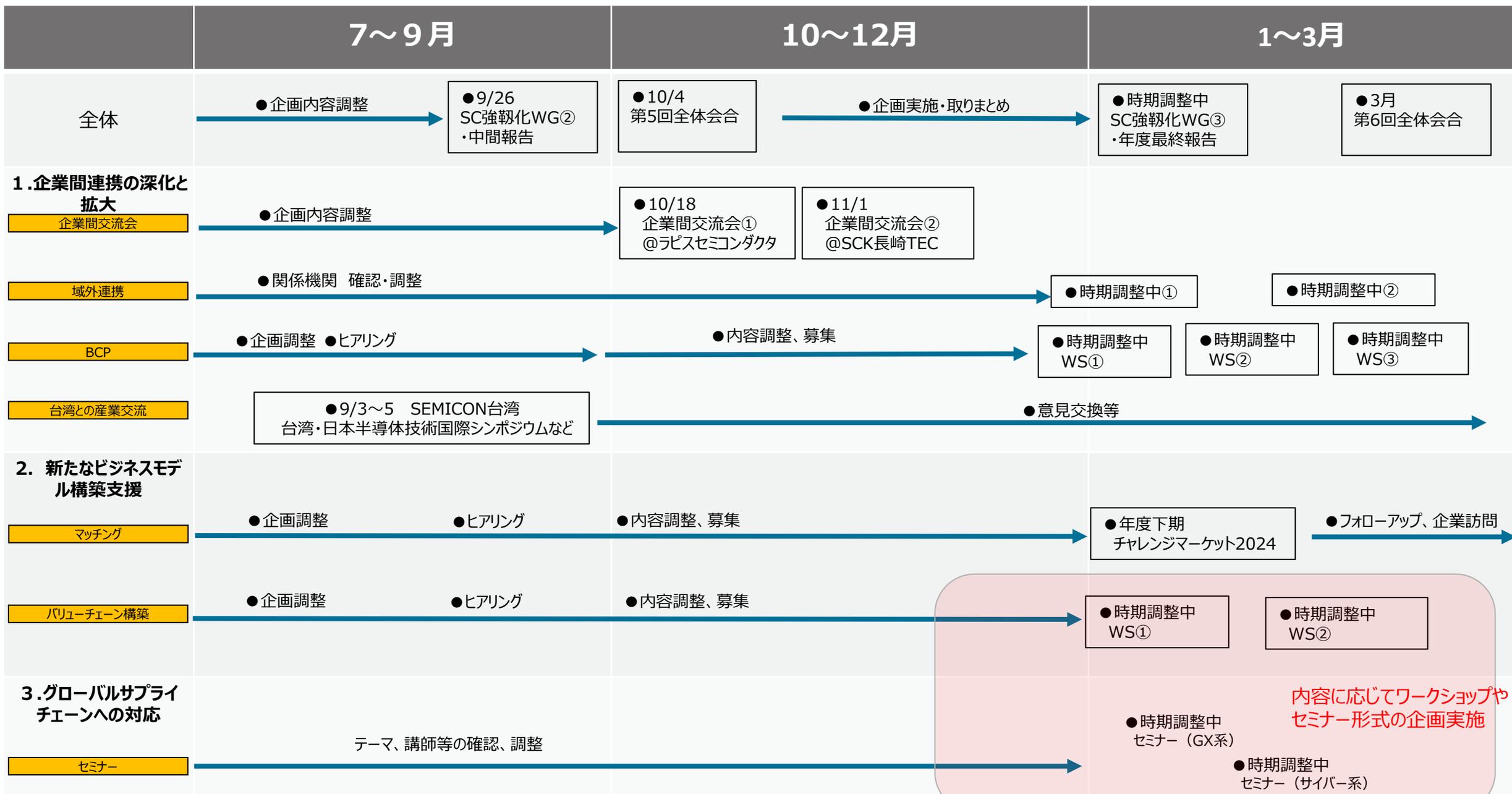
## 企画案) 双方向セミナー

step1 : テーマ(概要,詳細)、背景とポイントを中心に開催

アンケートの実施→受講企業,団体が各々の視点に置き換えて  
課題認識,課題解決に向けてやるべき事,知りたい事

step2 : アンケートの内容に応じたアンサーセミナーの実施

# 2024年度SC強靱化WG 事業スケジュール

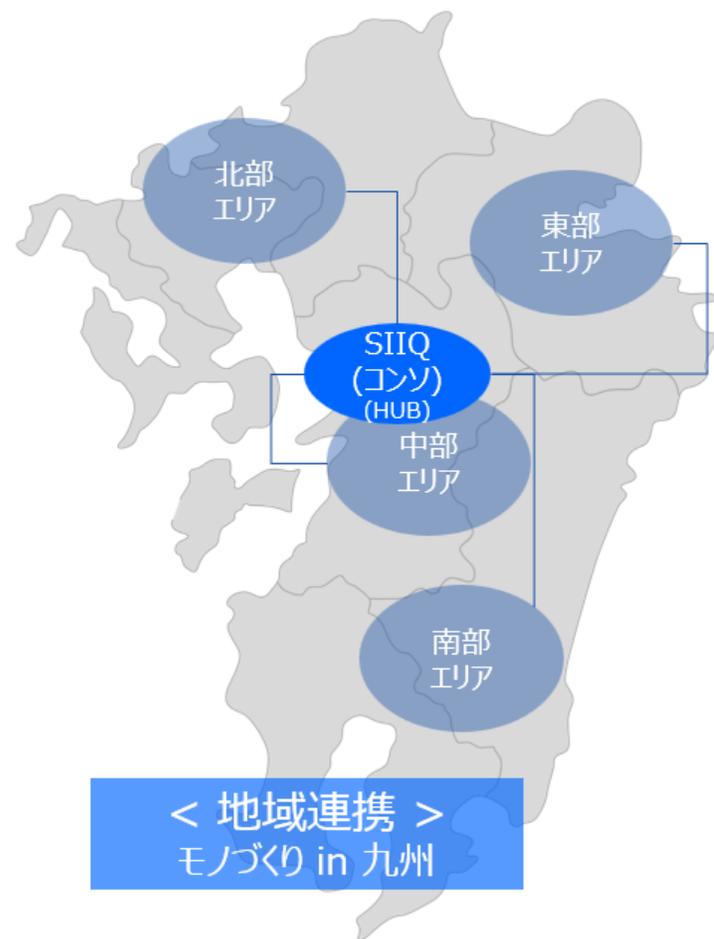


# 目指す姿(地域連携とエコシステム形成)

九州一体となったシステムを構築し、各地域システムとI/F(w/親和性)した連携

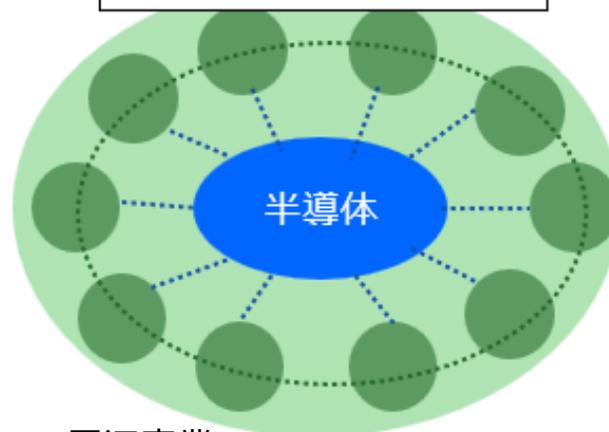
九州ビジネスエコシステム(生態系)形成

コンセプト: **ALL九州で効率と競争力を最大限に高める**



仕組みの展開,  
各地域間連携

ビジネスエコシステム形成  
~ 各機能間連携 ~



周辺産業  
物流, 学校, 銀行, 人材派遣, etc.

Goal: ビジネスエコシステム形成  
(ビジネス生態系)

対応)

- ↑ 新規ビジネスの創出, 体力強化
- ↑ DX化(デジタル化, 変革, 付加価値創造)
- ↑ 相互連携, 依存, 共存(GX担保)

課題)

- ↑ 個々での対応が困難(スピード, 機能, コスト)
- ↑ ビジネス環境の急激な変化, 複雑化